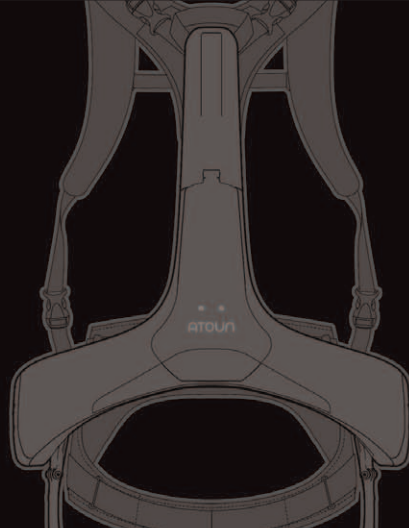


住友林業クレスト株式会社 静岡工場



住友林業クレスト株式会社
製造本部
静岡工場 生産管理部
中田 恵士 部長



製造本部
静岡工場 生産管理部
伊藤 健吾 さん



製造本部
静岡工場 生産管理部
増田 知希 さん

荷さばきにかかる腰の負荷を軽減

従業員の健康管理を “コスト”ではなく“投資”と捉えた 先進的な取り組み

事例のポイント

- ▶ 1日平均3,000個の荷さばきを6名で担当(内手作業3名)
- ▶ 身体負荷を軽減し従業員の健康を守る
- ▶ 2019年7月パワードウェア『ATOUN MODEL Y』3台を導入
- ▶ 作業効率の向上を追わず定着できる職場に

導入前の背景と課題

過去に仕事が継続できない ケースがあり、作業者の視点で 問題解決を図りたい

住友林業クレストは、全国に4つの工場を有する住友林業グループ最大の木質総合建材メーカー。静岡工場では玄関収納・クローゼット収納・洗面化粧台などを邸別に受注し、全国の建築現場に製品を送り届けておられます。多品種小ロットしかも短納期を実現

するのは、国内最大級のラミネート機を保有するなど、同工場が強みとする一貫した生産ライン。邸別・便別に送り出す荷さばき量は、一日平均3,000個にのぼります。

「台車に積まれた完成品を移動させ、パレットに移し替えるには作業者の技能と熟練が求められますが、身体にかかる負荷が相当大きい。腰や脚を傷めて仕事が継続できないケースが過去にあり、なんとか回避したいと考えていました」。作業者の視点で問題解決を図り、永く勤めることができる環境を整備すること。それは同工場にとって、「急務であった」と生産管理部の中田部長は振り返ります。



全国の建設現場で組み立てられる製品例



多様な木質素材を一貫ラインで製品に仕上げる

住友林業クレスト株式会社

■ 本社

所在地: 愛知県名古屋市中区錦3丁目10番33号

設立: 1959年(昭和34年)8月26日

資本金: 8億円(2020年3月現在)

株主/出資比率: 住友林業100%出資

売上高: 331億円(2020年3月期)

従業員数: 658名

工場: 鹿島工場・静岡工場・新居浜工場・伊万里工場

事業内容: 木質系住宅関連部材・住宅設備機器/集成材・階段部材・カウンター/化粧ボード/合成接着剤および化学材料や造り付け家具の製造販売

URL: <https://www.sumirin-crest.co.jp/>

■ 静岡工場

所在地: 静岡県藤枝市横内2266

従業員数: 142名

TEL: 054-647-7885

導入の経緯と選択の理由

低価格のコルセットタイプを試してみたが…。

実際の動作に照らして総合的に決定

「慢性的な腰への負担軽減を期待して、実は3年前に他メーカーの低価格アシストスーツを試してみたことがあります」と経緯を明かす中田部長。先行採用したこのアシストスーツは樹脂製板バネの復元力を用いるコルセットタイプでしたが、現場を担う伊藤さんは、「効果がさほど実感できず、しかも作業服の下に着用しなければならないなど着脱にも手間と時間がかかる。購入から数日で



荷さばきの動作例（持ち上げる→移動する→降ろす）

使用をあきらめました」と話します。

箱物・板物、重さ5kg~30kgの梱包品を中腰姿勢で持ちあげパレットに降ろす。中田部長が一連の動作にマッチするアシストスーツを模索し続けていた頃、すでにパワードウェア『MODEL Y』を導入していたJALグランドサービスの事例記事にたどり着き、当社販売代理店にデモンストレーションを依頼。伊藤さん・増田さんなどの使用者はもちろん、曾根田工場長や尾崎常務取締役も自らデモ機を装着されました。

伊藤さんは「どのような時に、どのような制御でモーターがアシストしてくれるのか」、実際の動作に照らしてその有効性をじっくり体感。「その後の総合的な検証からも大きな効



曾根田 諭史 静岡工場長
パワードウェア『MODEL Y』導入を主導。

● ●
ATOUn
POWERED WEAR

果が確認できた」（中田部長）ため、曾根田工場長の主導で2019年7月にパワードウェア『MODEL Y』を導入されました。

ご購入いただいたパワードウェア『MODEL Y』は3台。荷さばき作業は6名で行いますが、フォークリフト作業を除く3名が常時装着使用しています。それぞれの装着稼働時間は1日あたり約4時間。「バッテリーは1台につき2パックを用意しています。フル充電で2日（8時間）は問題なく使えますので、不自由を感じたことはまったくありません」と、増田さんからは運用面についても嬉しい評価をいただきました。

導入後の成果と展開

作業効率やスピードアップよりも 人材定着を主眼にした 継続的取り組み

パワードウェア『MODEL Y』ご導入から約1年（取材時）。使用者へのグループインタビューを重ねてきた中田部長は、「腰への負担軽減は、ほぼ目的どおり達成されました」と話します。

住友林業クレストには静岡工場のほかに3つの工場がありますが、同工場での成果を知って他工場からの見学もあるとのこと。このように社内での水平展開も検討されています。

また取引先の建築会社では「自社の現場で活用できないか」と使用シーンを模索する動きも始まっています。

中田部長によると「導入後の効果として作業効率やスピードアップしたか、定量的な測定はあえて行っていない」とのこと。導入を起案した時、経営上層部から伝えられたのは「作業効率やスピードアップを求めるよりも、作業者の負荷軽減に重点を置いて、貴重な人材の定着を目的にして欲しい」との指示でした。

パワードウェア『MODEL Y』の継続的な使用で腰への負担軽減を実感された静岡工場では、さらに腕の負荷軽減を目指して『MODEL Y』にそのまま搭載できるアームアシスト『kote』に関心を向けられています。

従業員の健康管理や健康増進の取り組みを“コスト”ではなく“投資”として捉え、経営的な視点で戦略的に実行する。これからの時代に欠かすことのできない住友林業クレストの先進的な取り組みを、取材を通して知ることができました。



腰に加えて腕の負荷軽減もご検討中。パワードウェア『MODEL Y』にアームアシスト『kote』を加えたデモンストレーション。

\ User's Voice /

伊藤 健吾 さん

導入のごく初期には戸惑いがありましたが、使用方法を理解すれば簡単に扱えます。慣れば装着は約15~20秒ほど。私は常時ハイパワーモードで使っています。正しく操作すれば、自分の動きに同調してくれる感覚があります。アシスト感が自然ですので、作業中の効果よりもむしろ帰宅後の疲労感に違いを感じます。



「もはや必需品」と話して下さったお二人

増田 知希 さん

デモの時に最も気になったのは、日常の動作にマッチするかどうか。そして装着時に身体の動きを邪魔しないかどうか。導入前は翌朝の出勤時に腰のだるさを感じることがありましたが、それもほぼ無くなりました。比較のために装着なしで作業を試みたのですが、やはり必要なスーツ。長く継続使用してこそ効果が実感できると思います。



株式会社 ATOUn

お問合せURL <https://powered-wear.com/contact.html>

（記事制作／2020年11月）

DL-CS01-202011